



チャレンジ!~若き福大OB・OG、その道の途中から~  
西日本新聞社 記者 **重川英介**さん  
あおぎみる山の頂、  
かけめぐる人の間。

地域へ、世界へ。Vol.3  
今年度前半の交換留学、海外研修を終えて

応える、答える! No.3 修学・講義編

思索。想像してぐらんと  
ジョン・レノンに歌う。

福岡大学特別講演会2005  
「みんなで守ろう地球環境」  
地球温暖化防止のための  
京都議定書の成立と今後の課題



夢へ手を伸ばす日々  
—福大生たちのグラフィティ—  
**OPEN**—心を開いて、  
みんなをキャンパスに  
迎えた日。

OB・OGメッセージ 私のチャレンジ4年間  
自分で見て、自分で考え、  
それをプレゼンテーション。  
浅い情報だけじゃダメなんだ。

福岡大学  
「なにこれ?キーワード」

# 先輩

ホームカミングデー

福岡大学の卒業生は約20万人。中規模の都市人口に匹敵するこの総数は、71年の歴史の中で積み重ねられた、私たちのかけがえない宝ものです。「ホームカミングデー(卒業生の集い)」は2002年、卒業生への感謝の一環として始まりました。これは、卒業生を母校に招待して本学との絆を深めていただくと共に、卒業生相互の親睦を図ることを目的としたもの。初回の盛況を受け、以後毎年「学園祭」の時期に行われる行事として定着しました。学長あいさつや在学生代表のあいさつ、記念講演会、本学交響楽団のコンサート、懇親パーティーなど内容は盛りだくさん。年々参加者も増えていきます。ほぼ3世代にわたるOB・OGが年に1度、ホーム(母校)に招かれる。旧交を温めるとともに、世代を超えた新しい交流が生まれる。その交流から文化・経済活動や地域・国際活動が生まれる。このような「人的循環」こそが、福岡大学を福岡大学たらしめる、大きな原動力なのです。

## 表紙のタイトル

FDは、このキャンパスで在学生の皆さん一人ひとりが、美しく  
素敵な夢(FINE DREAM)を育んでくれるように  
との願いを込めるとともに、あわせてFUKUOKA DAIGAKU  
の頭文字を構成し、愛称として名付けられています。



このマークは、大学基準協会が  
大学基準に適合していると認定  
した大学に対して与えるものです。

**【建学の精神】**  
思想堅実・穩健中正・質実剛健・積極進取

**【教育研究の理念】**  
「人材教育」と「人間教育」の共存  
「学部教育」と「総合教育」の共存  
「地域性」と「国際性」の共存

福岡大学の  
ある風景  
オープン  
キャンパス

小さな始まりが大きく成長。  
—500人から8,000人へ—



▲昭和60年の「キャンパス公開」風景。学術会館横の受付

昭和60年8月、「キャンパス公開」  
福岡大学をもっとよく知ってもらおうとの想いから始まりました。  
当時、殆どの教室に冷房はなく、唯一  
その設備のある大教室(831番教室)  
で、映画「福岡大学」が上映されました。  
インターネットの動画配信などは程  
遠い、アナログ全盛の時代でした。  
その様子を紹介する福岡大学学園  
通信の取材に、当時の工学部長・森脩  
教授が、大学の魅力とは、自らの地道  
な努力により現れる。その努力、その  
成長を見てもう一つにより、多くの  
方々が福岡大学に目を向けてくれる。  
そうすれば良い人材が集まり、さら  
によい大学ができると、その想いを語  
っていました。  
20年の時を経てオープンキャンパス  
は、参加者547人のとても小さな  
始まりが、8,078人もの方々に参  
加していただける大きなイベントに成  
長しました。  
迎える私たちの想いも規模と共に  
膨らんでいます。

## CONTENTS

2 **「直に会って、直に話す教育」**  
教育の二環として開催される福岡大学の父母懇談会。

4 **応える、答える！** No.3 修学・講義編

6 誌上特別講座  
「これならわかる！研究推進部の研究」  
◎超臨界流体の高度利用—有害な有機溶剤を用いない機能性材料の開発—  
◎ポリフェノール類の抗酸化作用とその機能性に関する研究

8 **あおぎみる山の頂、  
かけめぐる人の間。**  
西日本新聞社記者 重川英介さん

11 **OB・OGメッセージ**  
私のチャレンジ4年間

12 **OPEN—心を開いて、  
みんなをキャンパスに迎えた日。**  
オープンキャンパス

14 **福岡大学創立70周年記念事業**  
「福岡大学を学ぶ」

15 **福岡大学創立75周年記念事業「学生チャレンジプロジェクト」**  
学生の自主的な創造力と行動力を本学が支援  
選考の結果、4件のプロジェクトが決定！

16 **「人の間で、心悩ませる秋。」**  
「コラム」ヘルシーモーニングレシビ「パリのカフェのデザイン」



18 **「みんなで守ろう地球環境」**  
地球温暖化防止のための京都議定書の成立と今後の課題  
「コラム」2枚の写真から—福岡大学の今、あの頃—  
イベントスケジュール  
地域へ、世界へ。

20 **今年度前半の交換留学、  
海外研修を終えて**

22 **福岡大学決算2005レポート**  
大学を取り巻く厳しい環境下、  
更なる改革や充実を図る。

25 **図書館便り**  
約160万冊の蔵書はもちろん、  
貴重書コレクションにも注目！  
新刊本紹介 福大生にこの一冊！  
ななくま通信

26 **行く、見る、歩く、利用する**  
くるくる福大キャンパス  
第二記念会堂、1号館

**AA- 学校法人福岡大学が「AA-」の格付けを維持**  
学校法人福岡大学は、外部評価の一環として、株式会社格付投資情報センター(R&I)から昨年引き続き発行体格付け「AA-」(ダブルAマイナス)を取得しました。  
これは、21段階ある格付けの上から4番目という高い評価であり、本学の歴史や伝統、健全な財政運営に基づいた教育研究・医療における様々な取り組みが総合的に高く評価されたものです。  
本学は、この高い評価を維持・向上させるため、今後も教学と経営の一層の充実に向け、教育力の高い魅力ある学園づくりを目指します。



**表紙の言葉**

**「思索、想像してごらん  
ジョン・レノン」**  
「Imagine」。想像してごらん、とジョン・レノンは歌う。世界中のすべての人々が平和のうちに暮らしていることを。すべての人々がこの世界を分かち合っていることを。  
考える、想像するだけではいけないけれど、すべての行動はその思索から始まる。  
「hope」。そして、ジョン・レノンは願う。  
いつの日か君も仲間に加わってくれ。そうすれば、この世界はひとつになって動くから。

## 「直に会って、直に話す教育」 その一環として開催される 福岡大学の父母懇談会。

**大学の現在と  
未来へのビジョンや  
教育・研究・  
学生生活などの成果を**

本年度も6月12日を皮切りに7月2日まで父母懇談会が各地で開催されました。父母懇談会は「福岡大学の近況」や「教育・研究・学生生活など福岡大学の成果」を在学生のご父母を対象にお伝えすることを大きな目的として、後援会との共催により平成元年から実施しています。各地とも隔年で開催しており、17回目を迎える今回は、広島・宮崎・熊本・北九州・松山・佐賀の各地で開催され、合計で1,185人の方が参加されました。プログラムは、本学からの説明会、大学紹介ビデオ上映、そして長時間の個別相談会に大別されます。出席された方のほとんどが参加されるのが、この個別相談会です。

**学生一人ひとりの  
様子や  
修学・就職について  
面談を**

社会のIT化が進み、多くの情報はインターネットなどで迅速・簡単に手に入れることができるようになりました。しかし、細かなニュアンスや想いは、直接向き合って話し合わなければ伝わらないと本学は考えています。それがご父母にとって、何より

て、父母懇談会は大きな役割を果たしています。さらに、双方が深く語り合うことで、福岡大学へのニーズ、福岡大学発展へのシーズ(種々ヒント)を得ることも意義があります。父母懇談会後、参加された方へのアンケート調査では多くの方から「参考になった」という回答をいただきました。その反面、案内状を送付しても約9割がご出席いただけません。今後は欠席の方の心情などを探りつつ、会場の増加や各開催ごとの案内状送付エリア拡大など改善・改革を進め、父母懇談会をさらに充実したものにしていきたいと思えます。



父母懇談会には山下学長をはじめ、各学部長、教授陣も多参加し、懇切丁寧に対応しています

大切なご子女のことなら、なおさらです。自分の子が福岡大学でどのような学生生活を送っているのか、成績はどうか、就職は…。その想いに面談で誠実にお応えするのが、父母懇談会のもつ一つの大きな目的なのです。個別相談は午前と午後に分けて十分な時間を充てています。また、担当教員のほか、多くの職員が専門スタッフとして参加しています。1年次は修学や課外活動、2年次は単位取得と、学年によって相談の多い内容は異なりますが、やはり多数を占めるのは就職・進路についての相談です。

**個人情報保護の  
観点からも  
ますます重要となる  
懇談会**

個人情報保護条例が施行され、学生一人ひとりの成績などは、本人の許可なしではご父母の方々に送付できなくなりました。ご父母からご子女に激励やアドバイスをしていたり、ご子女に直接お話をすることが、より重要となりつつあります。また、福岡大学の「情報公開」という義務に伴う「説明責任」を果たす場として

**父母懇談会は  
「出前オープンキャンパス」と考えています。**

私は「バーチャル」という概念が万能であるかどうか、常々疑問を抱いています。どれほどに優れたバーチャルを持ってしても、実体は伴いません。名物ラーメンを再現しても、その匂いや味やコアンスは伝えられません。教育も同じです。教育とはあくまで「面と面向き合うもの」なのです。福岡大学の本质と学生一人ひとりの個性(成績や生活も含めて)を正確に緻密にお伝えするには、やはり直接見ていただく、話を聞いていただくのがベストなのです。そのためには、できれば本学キャンパスに来ていただきたいのですが、遠方の場合、時間的にも無理があるでしょう。そこで私たちが各地へ出向く。



副学長  
新関 輝夫

## オープンキャンパスレポート Open Campus Report

列をなす参加者に  
予定を繰り上げ受付開始!

恒例の「オープンキャンパス」が、8月6日、本学キャンパスで開催されました。地下鉄が開通したこともあり、今年に来学者は昨年より大幅増の8,078人。午前9時過ぎには来学者が列をなし、混乱を避けるため予定を早め、受付を開始するというスタートとなりました。大勢の来学者は、希望の学部説明会や個別相談会へ。また、大学の講義・実験・実習を体験する模擬講義や、理系学部の公開実験・施設見学などにも多くの人が集まりました。今年も遠方からの来学者や地域の子どもたちなども多く、「オープンキャンパス」が学園祭と並ぶビッグイベントとなったことを実感させました。



「学部ガイド」「福岡大学学園通信」など、情報公開の考えに基づいた本学の刊行物にも、多くのご父母が興味を持っている

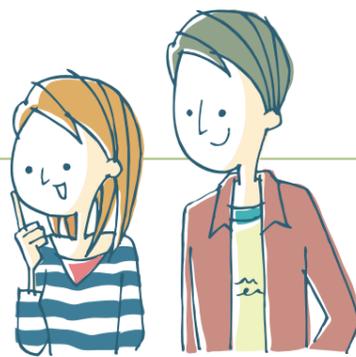


最近では母親だけでなく、父親の参加も増えた。学業成績はもちろんのこと、就職や進路についての相談にも熱心だ

# 応える、答える！

## No.3 修学・講義編

皆さんから寄せられる質問や意見に、福岡大学がしっかりと応える、答えるシリーズ。今回は、大学での学びについて特集します。



**Q.** 卒業単位が128または132になつていますが？

**A.** 法・経済・商学部の場合、入学年度により単位取得数が違います。これらの学部の平成11年度以降の入学学生については、第2外国語4単位を修得しない場合は、他の科目の中から4単位以上を修得しなければならず、卒業単位は128単位以上(商学部第二部は124単位)となります。なお、平成10年度以前の入学学生については、128単位。

**Q.** 理系学部の進級制限ってなんですか？

**A.** ステップごとに関門を設けた制度です。理系学部の場合、年次ごとに専門性が高くなるため、ある程度のレベルに達していなければ講義についていくことができません。そこで、本学では理・工学部では2年次から3年次へ、さらに3年次から4年次へ、薬学部では1年次から2年次へ、2年次から3年次へ、さらに3年次から4年次への進級の際に学業成績による制限

**Q.** 追試験は、やはり不利ですか？

**A.** 80点を限度とした評点、やはり不利です。追試験の評点は80点を限度として評価されるので不利になります。ただし、状況(追試験になった理由)によっては100点満点で評価することもあります。また、本人の不注意で定期試験を欠席した場合は、追試験も受験できません。試験期間中は、科目の試験時間に注意し、寝過ごしたりしないように十分気をつけてください。

**Q.** 留年した場合、就職に影響しますか？

**A.** あなたの心掛け次第です。就職の場合、企業によっては年齢制限を設けているところもありますが、1〜3年であれば必ずしも大きな問題ではありません。ただ、面接で「なぜ留年したか」を聞かれ、

**Q.** 成績優秀者には、なにか特典がありますか？

**A.** 「特待生」として表彰します。学業成績ならびに品行が特に優秀な学生を「特待生」として表彰する制度があります。全学部から毎年、90人程度が表彰され、奨学金(文系学部の授業料相当額)が授与

**Q.** 先生に講義でわからないところを尋ねたいのですが？

**A.** オフィスアワーを利用してください。普段の時間でも、時間が許す限り先生方は質問に答えられます。積極的に尋ねてください。授業の内容についても詳しく聞きたい、いろいろな相談に乗って欲しい、という時は「オフィスアワー」を利用してはどうでしょうか(「学修ガイド」に掲載)。これは、先生方の研究室を訪ね、いろいろな話をする時間を設けた制度です。先生方によって時間



**Q.** 就職が決まった場合、単位不足でも卒業は考慮してもらえますか？

**A.** 考慮は一切しません。厳しいと思われるかもしれませんが、大学の在り方を考えた場合、当然の処置です。大学は就職のための予備校ではありません。就職先が決まっ



教務部長 酒井 健治郎 (人文学部 教授)

出席を厳正にとるという目的の他に、この小さな紙には私たちの教育への意欲がぎゅぎゅ詰まっていると考えてください。最近の学生は、真面目でノートもきちんと取りますが、全般に自主性と積極性が足りない。暗記には強いが、大学教育の核になる「自ら考える」という点では物足りなさを感じています。「ミニツツペーパー」も、使い方次第で、学生の皆さんに「自立性」を促すきっかけになるはず。自分で書物を読み、自分で考えて文章にする。のびのびと行動する、その行動に責任をもつ。長い視野で人生を見る、遥かに遠い未来にまで視点を伸ばす。そういうプロセスこそ大学の「学び」があるのです。

### 教務部長からのメッセージ

ノートを取る、暗記する、これだけでは大学における「学び」とはならない!

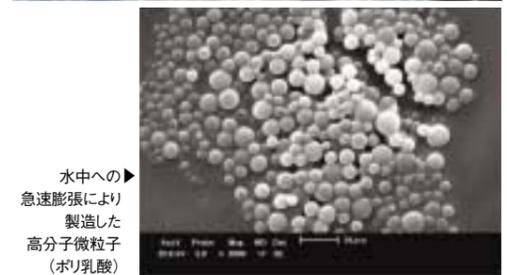
学生の皆さんが有意義な学びを確実に身につけるよう、私たちもさまざまな取り組みを行っています。たとえば、高校から大学への学びの橋渡しとなる「導入教育」。これはレポートの書き方から論文の読み方まで、学生の基本的なスキル・アップを目指すものです。各専門分野の基礎知識を新入生の皆さんに着実に教える必要性は言うまでもありません。これらはすでに複数の学部で実行に移されていることです。また、学生の学力レベルに応じた教育を徹底するためには、基準点数(100点表記)だけではなく平均点などを利用して、きめ細かい教科指導・修学指導を実行することが必要です。さらには、教える側の「授業内容」の向上を目的に、教員スタッフが互いの授業を見学できる「オープン授業」の展開も期待されています。一部の授業では「ミニツツペーパー」を時間の終わりに配っています。これは授業のポイントや感想・意見を書くための小さな紙です。



# これならわかる！ 研究推進部の研究

## Case 1

### 超臨界流体の高度利用—有害な有機溶剤を用いない機能性材料の開発— 高圧力状態の二酸化炭素などによる 地球環境に優しい製造技術の開発



水中への急速膨張により製造した高分子微粒子(ポリ乳酸)

いくら圧力を加えても液化しない温度(臨界温度32℃)で、臨界圧力72 atmを超えた状態の二酸化炭素を「超臨界二酸化炭素」といいます。この高圧力状態の二酸化炭素圧力200 atm程度を用いた実用装置の利用が進んでいます。

要な課題です。このように高圧ガスとして利用した、グリーンプロセス(地球に優しい製造技術)の開発は、社会的なニーズといえるでしょう。

私たちの研究室では実用装置を使用して、機能性マイクロカプセルの製造、ダイオキシン等の有害化学物質の分離、濃縮や分解、生「ゴミ」からの生分解性高分子発泡体の製造、遺伝子の高速増殖技術、廃液を出さない染色技術、機能性高分子材料の開発などに関する研究を行っており、すでにいくつかは実用化されています。



研究代表者 三島 健司  
(工学部助教授)  
1986年姫路工業大学大学院工学研究科  
博士後期課程修了  
1992年から福岡大学工学部化学工学科  
(現化学システム工学科) 助教授  
専門:工業物理化学・化学工学

#### 研究早わかりチャート

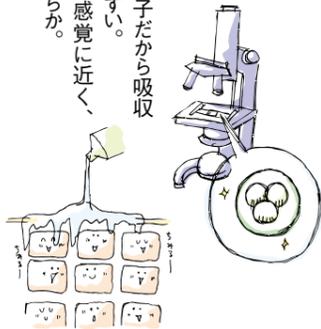
○高圧力状態の二酸化炭素や水を用いた実用装置を使って新しい材料や医薬品、機能食品などを作る。

○(実用化された例)化粧用品

超臨界二酸化炭素を用いて高分子微粒子をコーティングしてマイクロカプセルにする。

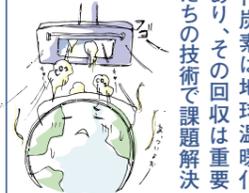
○微粒子だから吸収しやすい。  
皮膚感覚に近く、なめらか。

○二酸化炭素の有効利用で、グリーンプロセス(地球に優しい製造技術)



#### 1 この研究をなぜ始めた?

二酸化炭素は地球温暖化ガスであり、その回収は重要な課題。私たちの技術で課題解決に貢献できないだろうか。



#### 2 この研究のユニークポイント

高圧力状態の二酸化炭素(圧力200 atm程度)を用いた実用装置を用いて、ナノテクノロジーやバイオテクノロジーなど広い分野での材料や商品づくりの技術を開発する。



#### 3 この研究は何に役立つ?

有害な有機溶剤を使わない材料や商品の開発に貢献、二酸化炭素を回収して有効利用できる。つまり、グリーンプロセスの発展に役立つ。



## Case 2

ポリフェノール類の抗酸化作用とその機能性に関する研究

### 和漢薬や食品などの薬効を科学的に証明し、かつ発見していく



私たちは、野菜や果実、お茶やワインなどを通して天然抗酸化物質を摂取しています。しかし、このような「非栄養素」と呼ばれるものと健康への関わりが注目されたのは最近のことです。たとえば、フラボノイドは抗アレルギー、抗炎症、抗ウイルスなどの生理機能が報告されていますが、その生体への吸収や代謝などは不明な点が多く、生理活性

物質として注目されることは少なかったといえます。同じようなことは、動脈硬化、ガン、糖尿病などの一因といわれる活性酸素を予防する「抗酸化物質」にもいえるでしょう。

私たちの研究室は、天然物の抗酸化機能について、その有効性を科学的に証明する研究を進めています。具体的には健康食品として流通している「大麦若葉」の抗酸化作用解析、ダイエツト飲料として注目されている「苦丁茶」の成分

#### 研究早わかりチャート

○たとえば、なぜ赤ワインに含まれるポリフェノールは体に良いのか?



○その機能は科学的に解明されているとは言いがたい。



○「医食(薬食)同源」の観点から、食品の持つ新しい機能「効果が「予防医学」的に注目されている。

○天然物の抗酸化作用などを科学的に証明し、また有用な成分を発見することで、「病気になる体づくり」に役立ちたい。



#### 1 この研究をなぜ始めた?

天然物の抗酸化能などの知見は、これらを含む食品、ハーブや和漢薬を人が摂取した時の効能(薬効)を解析する上で重要になる。



研究代表者 大川 雅史  
(薬学部助手)  
2000年熊本大学大学院薬学研究科  
博士後期課程中退  
2004年から福岡大学薬学部助手  
専門:生薬学

#### 2 この研究のユニークポイント

○今までにあまり試みられなかった天然物の有効性を科学的に証明する。—実用的



#### 3 この研究は何に役立つ?

健康食品、サプリメントの新開発。民間治療薬的な天然物の薬効を証明することで、安心して摂取できる「予防医学」の充実と進歩に役立つ。



もっと身近に、もっとわかりやすく。研究推進部の研究活動を紹介するシリーズ。今回は「超臨界流体の高度利用—有害な有機溶剤を用いない機能性材料の開発—」と「ポリフェノール類の抗酸化作用とその機能性に関する研究」を紹介します。

思い出したようにまたクスクスと笑った。「最近までカーテンもなかったんですよ。僕が起きて、上半身ハダカで窓際に立つと、向かいの住人があわててカーテンを閉めちゃう。これはさすがにマズイかなって…」。

「ふだんは寝るために帰ってくるだけだから。たまの休みは酒飲んで、後はひたすら眠っている」

「ああ、そうかも知れませんがね」。重川は屈託なく笑う。

明日、ネパールへ出発という慌ただしさの中。重川英介は、それでも快く取材に応じてくれた。場所は彼のマンションの部屋。失礼を承知で書く。そこには彼の世代の住空間を満たすに相応しいモノが切なかった。A V機器、洒落たソファ、家具。まるでない。

彼は今、ギャチュンカンの峰を仰ぎ見ているのだろうか。登頂を始めたのだろうか。たった一度、数時間話しただけなのに、妙に印象に残る青年だった。訥々(とつとつ)と話しながら、なにげない言葉がこちらにしみてくる青年だった。知らぬうちに自分のことを聞いてもらいたくなるような目をしていた。



今回のネパール遠征に携帯するパソコン。メールで記事を送るという。「機械にはまるで弱い」というが、キーボードへのタッチは軽やかだ

そのベースキャンプの部屋に、ヒマラヤ高峰の写真だけが額に飾ってあった。

1996年、重川は福岡チヨモランマ登山隊の一員として、福大山岳部OBと共に、世界最高峰チヨモランマ(8,848m)登頂に成功する。日本人の最年少登頂者だった。その隊の一員に新聞記者がいた。彼の仕事ぶりを見て、重川は興味をひかれる。「なんか面白そうだなって」。卒業後は伝手(つて)を頼って山岳関係の仕事に就き、登山家の道を歩むことも可能だった。「だけど、違う社会も見てみたかった。人間の中で揉まれたかった」。重川は西日本新聞社に記者として入社する。入社できたのは奇跡みたいなものと、重川は言う。しかし山岳部で鍛えた肉体と精神、なにより彼の人柄が大きなポイントになったのではないか。

入社後、3カ月間の研修を経て、社会部に配属される。編集局の中で最も「人間」を取材することが多い部署。ある日、火事の現場に向かう。夢中で写真を撮っていた彼に被災者が怒鳴った。「写真撮るヒマがあるなら、(救助を)手伝え!」。ショックだった。悩んだ。



「新米の僕は、成果を挙げることに夢中だったかも知れない。報道される人への配慮に欠けていた」  
報道の義務と責任を改めて考えた。取材は誠実さと思いやり。大切なのは取材する側とされる側の信頼感。山という絶対的な存在にひたすら立ち向かってきた青年が、人という相対的な存在の間を駆け回った。そうして7年が過ぎた。

いつしか山のことでは忘れがちになっていた。山のことを考えながら出来る仕事ではなかった。記者として一人立ちしなければ周りに迷惑がかかる。けれど、ふとした瞬間に軽い虚脱感が襲う。俺、このままでいいのか。山岳部OBの集いに参加するのが辛くなった。顔を出す山のことを考えてしまっ。

人の間で走り回りながら、その仕事に手ごたえを感じながら、山を仰ぎ見ていた頃の自分を思い出す。

焦燥。そんな時、OBから連絡が入った。「ネパールのギャチュンカンに行く。おまえ、参加せんか」。山が、再び眼前に現れた。

悩んだ。悩みながら大学受験の頃を思い出していた。

# あおぎみる山の頂、 かけめぐる人の間。

チャレンジ！〜若き福大OB・OG、その道の途中から〜

西日本新聞社記者 重川 英介さん

妙に印象に残る青年だった。まるで登山隊のベースキャンプのような。人間の中で揉まれたかった。記者の取材は誠実さと思いやり。山が、再び眼前に現れた。

重川英介

## しげかわ・えいすけ PROFILE

1974年11月27日生まれ。愛媛県松山市出身。1998年福岡大学商学部卒業。在学中は山岳部に所属。卒業後、西日本新聞社に入社。北九州、大牟田勤務を経て本社社会部へ。2005年秋、福岡大学山岳会の一員としてネパール・ヒマラヤの難峰・ギャチュンカン(7,952m)登頂に挑む。記者として、その登頂記も新聞に連載する予定。

総合大学という魅力、加えて入学した先輩たちが楽しそうだったという理由で、福岡大学を選びました。1年次、2年次の頃はあまり就職のことなんて考えていませんでした(笑)。ピザ屋さんとかラジオ局とか、いろんなアルバイトを、しかもかきもちでやっていました。働くことがゼンゼン苦痛じゃありません、私(笑)。接客業とか、人との交流が好き。

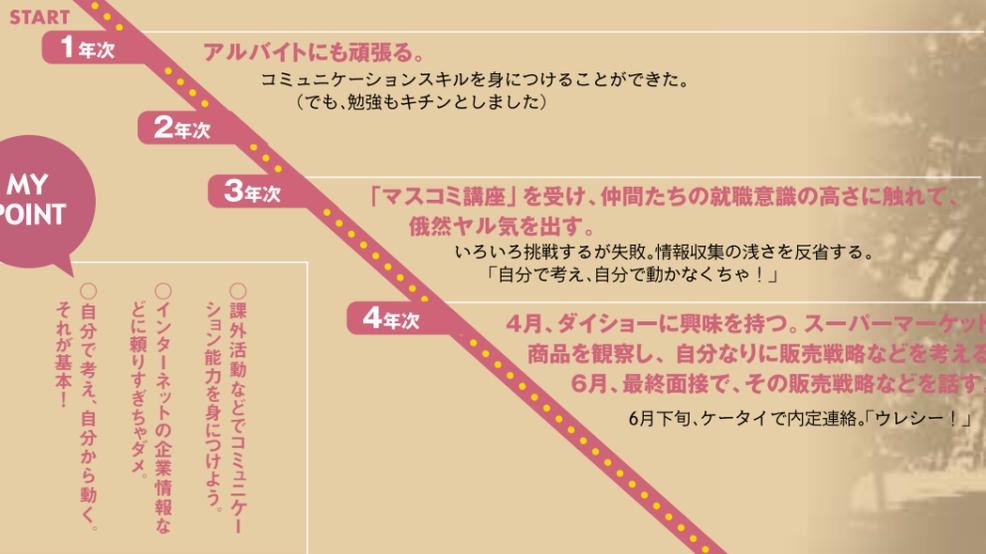
3年次に「マスコミ講座」を受けて、その講座の仲間たちがすごく就職意識が高い。私も影響を受けて頑張り始めました。ダイショーを意識したのはCMを見てから。自分がよく知っている商品で、しかも本社が福岡であることに惹かれました。それで近く



経済学部経済学科  
2003年卒業  
株式会社ダイショー勤務  
田中 亜佑美さん

自分で見て、自分で考え、それをプレゼンテーション。浅い情報だけじゃダメなんだ。

就職のための4年間チャート



坂田 恵補さん  
株式会社ダイショー  
管理本部総務部部长

担当者へ聞く

この人を選んだ理由

コミュニケーション能力と一つひとつの発言の深さが際立っていた。

面接の時から印象は際立っていましたね。こちらの質問をじっくりと受けて、キチンと答える。コミュニケーション能力の高さはすぐわかりました。それから、当社の商品のことをよく理解している。商品リストを丸覚えしたのではなく、一つひとつを消費者の視点で分析していました。そのうえ売り場まで観察して、販売戦略まで自分で練っており、それを堂々とプレゼンテーションしてくれた。□で「この会社に入りたい」というのは簡単です。彼女は、その意欲を具体的な形で表現しました。そういう人材は、なかなかいませんよ。入社後も、ほんとうに頑張ってくれています。

Challenge! Message from OB・OG



飾り気の一切ない部屋だが、山をモチーフにした絵画が。一目で気に入って買い求めたという。山男はロマンチスト。古今東西、それは変わらない

チャレンジしてみようと思った。卒業後の、社会人としての、自分が試される。答えのない問いを投げかけてくる。

松山から東京へ、幾つかの大学を受験しに行った。飛行機から初めて富士山を眼前に見た。受験の点数、1点2点で二喜二憂する自分に比べ、なんと雄大ななんと荘厳な。

その時の感動が、重川を福大の山岳部へ誘(いざな)った。練習は大変だった。若杉山から宝満山へ40キロの荷物を背負って縦走する。キャンパスを走り、徹底的に体を鍛える。

女子部員もいないサークルだったが、重川にはそれでも楽しかった。

「コンパに出ると、

70歳位から20代の先輩まで

ズラリとそろっぺです。

なんちゅうクラブかいな、

と思った(笑)」

その先輩たちと共にチヨモランマにも登ったのだ。そして今、再びの機会。重川はチャレンジしてみようと思った。

新聞社からは、登頂記を書くことでOKが出た。「ギャチュンカン」別名を「100本の川の源流となる、雪の山」という、世界有数の高峰。卒業後の、社会人としての、自分が試される。

新聞記者として、出会った人の人生を懸命に描いてきた。「瞬の出会いを永遠に刻みこむ」ことに懸命だった。人間人間の間に駆け巡った歳月の後、再び、厳然



福岡大学山岳部時代、仲間たちと。「疲労で貧血を起こし倒れて」しまうほど鍛えられたが、山に登るのが楽しくてしかなかった。山岳部との繋がりは、彼にとってかけがえのない財産だ

「山は厳然と存在し、答えのない問いを投げかけてくる」

彼は今、ギャチュンカンのどこにいらっしゃるだろう。山は今彼の彼に、どんな問いを投げかけているだろう。「瞬の出会いを、永遠に記憶させてしまおうような、あの人間に。山は。」

と存在する山の頂を仰ぎ見る。その時「昔の気持ちに戻るかなあ。違っように見えるかなあ...。自分でもわからない」。

福大在学時、チヨモランマに登った後のインタビューで重川はこう言っている。



一瞬は永遠  
時間と出会いをKeep。



## OPEN—心を開いて、 みんなをキャンパスに迎えた日。

公開実験には小学生たちの姿も。オープンキャンパスは、地域に福岡大学の「知」を開放する場でもあるのです。



模擬講義や学部説明会が大人気。在学生相談コーナーでは、具体的な質問に体験を踏まえた親切な答えで対応。「大丈夫だって。すぐ慣れる。2年次生になったら授業はもっと楽しくなるよ」



午後から激しい雷雨。雨宿りで工学部のロボットサッカーに人だかり。「きっかけはなんでもいいですよ。まずは体験してください。雷雨のおかげで、将来、素晴らしい工学者が誕生するかもしれないね」とこやかに笑う、先生。



ひょうたん池の大石を使った「遺跡の測り方」の公開授業。先生・大学院生・在学生との交流の機会が多いのもオープンキャンパスならではの。



キャンパスガイドのメンバーには、中国からの留学生たちの姿も。「私たちが感じた、福岡大学の温かさを伝えたい」高校生たちに積極的に語りかけていました。

最初はぎこちなかったガイドも、数時間でとてもスムーズに。「最初は自分の母校の制服を見つけて声をかけ、慣れてくればみんなOKですよ」なるほど、そういう手があったか。



Welcome to  
Fukuoka Univ.  
OpenCampus!!

2005年8月6日。今年も「福岡大学オープンキャンパス」が開催され、中・四国・九州全域から8,000人を超える参加がありました。さまざまな行事の主役になったのは在学生たちです。キャンパスを訪れた高校生や父母を案内するキャンパスガイド、公開実験、在学生相談コーナーなど、それぞれの役割に懸命に取り組む姿がとても印象的でした。「僕たちが高校生の時も、先輩たちが親切にしてくれた。福大に入学したいと思ったのもこれがキッカケ」。そんな思い出を胸に、今度は僕たちがどの想いが全開。心を開いた交流が、キャンパスのあちこちに広がりました。



お疲れさまでした〜!!



キャンパスガイドのスタッフたち。一日を終え、通用門のところで記念写真。みんな顔が焼けてた。「とても疲れた。でも、せっかく慣れたんだから、もう少しやりたかったね」



附属看護専門学校では看護師の白衣試着コーナーが人気。「白衣を着ると夢がカタチになった気がするんです」私も1年前はそうだったんだよね。



福岡大学創立75周年記念事業

CHALLENGE PROJECT

## 学生の自主的な創造力と行動力を本学が支援 選考の結果、4件のプロジェクトが決定!

本学が平成21年に創立75周年を迎えるのを記念して企画した「平成17年度学生チャレンジプロジェクト」の認定書授与式が行われました。



7月11日に行われた「学生チャレンジ認定書授与式」

「学生チャレンジプロジェクト」とは、学生が自主的に創造力と行動力を発揮できる機会を新たに作ることを目的としたもの。学生(個人またはグループ)が、自主的にやりたいことを計画立案し、認定を得たプロジェクトには本学が活動資金を支援するものです。

本年度は4月上旬に募集を開始し、5月28日の締め切りまでに23件の申請がありました。

学生チャレンジプロジェクト委員による、申請書等の評価およびヒアリングでの選考を経て、さらに最終選考で4件を決定。7月11日に「学生チャレンジ認定書授与式」を行いました。今後、各プロジェクトが順次実施され、その間、12月下旬の「成果報告会」を経て、来年2月下旬の報告書および会計報告提出で終了します。

選ばれた学生の皆さん、夢を具体的な目標に変え、それに向かってチャレンジしてください。

### CHALLENGE PROJECT INTERVIEW

#### 「モンゴル小児医療視察—現地医学生との交流を通じ—」

医学部医学科1学年 小野 敦子さん



私の将来の夢は、発展途上国で医師として医療活動を行うことです。特に注目しているのは、アジア圏の小児・女性医療。これまでNGO団体の活動、催事などを通して、発展途上国の医療の現状を少しずつ学んできました。中でも18歳の夏に、AMD Aのスタディーツアーでネパールに行き、現地の状況を肌で感じたことが強く印象に残っています。今年の8月に私の地元の医師団がモンゴルに視察に行くのです。それに同行して、モンゴル健康科学大学を始め、国内の病院を視察し、特に現地の小児医療を重点的に見てきます。

アジアの小児医療の現状を各国で対比しながら深く調べ、将来、必要とされる医療分野を考えていきたいですね。

#### 「自由貿易の可能性と問題点を調べる調査—日本、フィリピンにおけるフィールドワークを中心に—」

法学部経営法学科4年次 瀧本 昌平さん



経済のグローバル化は着実に進んでいますが、その要であるWTO交渉は各国の利害関係が絡み、遅れています。そんな中、各国はFTA交渉に自由貿易の活路を見出そうとしているようです。そこで日本(福岡)、フィリピン(両国)でのフィールドワークを実施し、経済的・文化的などの観点から、FTA(又はWTO)の可能性と問題点を明らかにしたいと思っています。また12月に香港で開催されるWTO閣僚会議に参加し、民意がどう国の政策に反映されているのかあるいは反映されていないかを明確にし、そのメカニズムを探りたいと思います。最終的には、自由貿易を巡る日本(福岡)とフィリピンとの未来像を探り、両国への問題提起と社会貢献を果たしたいですね。

今年3月、「第7回ROBO ONE」に挑戦し、失敗。情報・経験・技術力不足とロボット本体のパワー不足が原因でした。

#### 「ROBO-ONEへの道—THE DREAM OF ROBOT—」

代表 工学部機械工学科2年次 佐多 大輔さん 他2名



今後は、リアルタイムでロボットを自由自在に動かすためのコントローラーやコントロールドボード、ソフトの開発を行っていきます。つひつひの課題をこなしていけば、次の大会ではきっと良い結果が得られると確信しています。

今後は、その成果を七隈祭や地域交流などで発表するつもりです。また、サークル主催のチャリティーイベントを開催します。イベントではリサイクル品を募ったり、募金活動をしたりして、実際の収益金を西アフリカを支援する団体に寄付します。

#### 「西アフリカへの貢献!!」

##### —西アフリカの研究とチャリティーイベントの開催—

代表 法学部経営法学科4年次 大重 貴洋さん 他13名



私たち「福大ジェンベサークル」は、西アフリカの民族太鼓「ジェンベ」を通して、西アフリカの伝統音楽・文化の研究を行っています。また音楽を通して、継続的な地域社会への貢献も目標にしています。今年度は、西アフリカの知識やジェンベ演奏の向上のため、資料・楽器・教材などの充実や、西アフリカの音楽学校である「タムタム・マンディング日本校」へ研修参加することを目標に挙げ、その実現のためにプロジェクトに応募しました。

今後は、その成果を七隈祭や地域交流などで発表するつもりです。また、サークル主催のチャリティーイベントを開催します。イベントではリサイクル品を募ったり、募金活動をしたりして、実際の収益金を西アフリカを支援する団体に寄付します。



福岡大学創立75周年記念事業

# 福岡大学を学ぶ

本学は、創立75周年を記念し、この4月、「福岡大学を学ぶ」を開講しました。この講義は、共通教育科目の総合系列科目(文化と教育)として、1年次生を対象に開講され、各担当者が1回ないし2回の授業を受け持つ「オムニバス形式」で行われました。

講義概要は、「大学」に関する学問的・教育的分析および解説から成っていますが、「大学」の役割や機能、「福岡大学」の組織や仕組み、「福岡大学」の学風や伝統などについても学びました。また、高校と大学との違いや大学で学ぶ意味を考えることで充実した学生生活を送ってもらいたいとの願いから、「大学への導入教育」という側面をも併せ持つ「大学論」であることも特色でした。



**ミニツペーパー(感想カード)**  
に寄せられた受講者の主な感想

- 10数人というゼミナール並みの人数で講義を聴くことができたのは良かった。もっと多くの学生がこの授業を受けてもらいたいと思った。
- 大学について様々なことを学ぶことができ、今後の大学生活に大変役立ちそう。
- この授業を履修して、今までの自分やこれからの自分のことを考えることができた。
- 普段の授業では学べないようなことを多く学ぶことができた。将来、役に立ちそう。
- 授業中に出てきた「二期一会」という言葉の持つ意味を最近感じることができた。学生生活に限らず、これからの人生、「二日一日を大切に送ってきたい。」

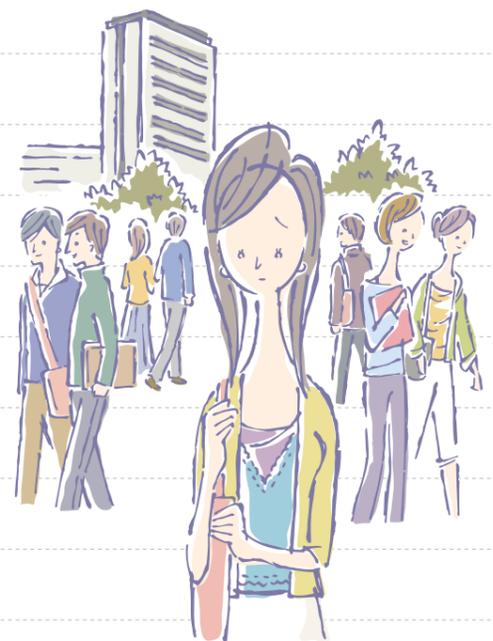
#### 講義内容と担当者

回	講義内容	担当者
1	開講の主旨(福岡大学の歴史、建学の精神)	山下 宏幸 工学部教授(学長)
2	大学の役割①(大学の組織論)	新関 輝夫 法学部教授(副学長)
3	大学の役割②(大学機能論)	
4	大学で学ぶ意味①	平松 信康 理学部教授(共通教育センター長)
5	大学で学ぶ意味②	
6	福岡大学を語る①	中原 一 スポーツ科学部教授(学生部長)
7	福岡大学を語る②	
8	地域に貢献する福岡大学	瓦林達比古 医学部教授
9	世界に発信する福岡大学	松藤 康司 工学部教授
10	大学をどう活用するか①	
11	大学をどう活用するか②	大谷 善博 スポーツ科学部教授(就職・進路支援センター長)
12	本講義出席の意味を考える①	酒井健治郎 人文学部教授(教務部長)
13	本講義出席の意味を考える②	
14	福岡大学を学ぶ まとめ	平松 信康 理学部教授(共通教育センター長) 酒井健治郎 人文学部教授(教務部長)



感受性の鋭い時期にありがちな心の悩みや不安。皆さんは感じたことはありませんか。そう、誰だってそんな気持ちになることがあるのです。

## 「人の間で、心悩ませる秋。」



キャンパスに、ようやく秋風が吹く頃。1年次生のSさんは、キャンパスの緑陰の心地良さを思い描きながら、そこに足が向かない自分がいらだっていました。きっかけは夏休み前のサークル活動。そこで仲良くなった友人と、ささいなことで口論になったのです。しかも他のサークル仲間たちが、自分ではなく、友人の意見に賛成したのです。気ままのままに別れ、Sさんは故郷に帰りました。その友人からは、夏休みの間、なんの連絡もありませんでした。「キャンパスに戻りたくないなあ」。Sさんの心の悩みの始まりでした。

それでも福岡に戻ってきたSさんでしたが、大学に行く気が起こりません。アパートから出る気が起きません。数日後、これではいけないと、キャンパスに向かいました。教室では、誰かが自分のことを噂しているような気がします。いたたまれない思いでした。意を決してサークルの部屋に行くと、あの友人がいました。「ごめんね、Sさんのケータイ番号



失くしちゃって...」。ほんとかな、と疑いながら、それでも笑顔で話しました。そのうちに笑顔をつくることが苦痛になってきました。友人の話に何とか合わせようとすると自分がイヤになってきました。翌日から、Sさんはまたキャンパスに行かなくなりました。部屋で読んでいた福岡大学の学園通信で「ヒューマン・デベロップメントセン

ター」のことを知り、相談してみようとして予約しました。センターでは、まずインテーカーに会い、今の状態を話しました。病院でありがちな、問い詰めるような風ではなく、話をじっくり聴いてくれる姿勢に安心感を持ちました。そして、専門のカウンセラーを紹介され、次からはカウンセラーに相談していくことになりました。カウンセラーは、Sさんの状態をじっくりと聴き、ありのままのSさんを、受けとめてくれました。Sさんは、ゆったりと話をしているうちに、誰にも理解して貰えないと思っていた自分の気持ちに気づき、何となくこだわっていた重い気分が、少し楽になってきました。しばらくして、Sさんは、カウンセラーの勧めもあり、HDセンター主催の「なりたい自分探しセミナー」に参加してみることになりました。10人ほどのグループの中で、話し合ったり、遊んだりするうちに、自然とコミュニケーションスキルを学びました。「自分

をありのままに出しても、楽しく話せるんだ」。Sさんはそう思い始めました。紅葉した葉が散り終えた頃、Sさんがセンターに来る頻度が少なくなり、元気に来ようとしています。「もう大丈夫かな」。カウンセラーは、そう思いました。

**カウンセラーより一言**  
青年期は、自意識が強くなりがちです。人に合わせるために無理している自分と、ほんとうの自分が心の中でしっくりいかなくなり、他者とのコミュニケーションが苦痛になることがあります。こういうことは、程度の差こそあれ、誰もが感じることもありますが、これを乗り越えることも「大人」への一歩です。苦しくなったら、どうぞセンターに来てください。あなたに合った方法で、あなたの一歩を応援します。



**ご案内**  
HDセンターでは、「自分らしい自己表現」、「なりたい自分探し」というテーマで、専門カウンセラーによる講座を、春季休暇中に実施します。オアシスと学生課にも講座の案内ポスターを掲示しますので、ご覧ください。講座の参加費は無料です。また、昼休みを利用して、サポートグループが定期的に開催されています。参加申し込み、お問い合わせは、HDセンターへ。電話もしくは来室で受け付けています。

**自己表現講座**  
コミュニケーションについて、楽しく学ぶ講座です。  
日時／平成18年2月23日(木) 3月2日(木)  
3月9日(木)  
全日とも12時40分～16時  
講師／屋宮公子カウンセラー  
**なりたい自分探し講座**  
自分の長所や特長を知り、将来の仕事分野や職業について、じっくり考える講座です。  
日時／平成18年2月28日(火) 3月7日(火)  
3月14日(火)  
全日とも12時40分～16時  
講師／屋宮公子カウンセラー

**サポートグループ**  
学生生活上の情報交換、友達づくり、居場所づくりを目的とし、サポートグループが開催されています。  
日時／毎週火曜日と木曜日 12時～13時



▲専門カウンセラーの屋宮先生

## ヘルシー モーニングレシピ Healthy Morning Recipe



オーブントースターを使っての簡単料理。  
カルシウムや鉄分をおいしくとろう!

### パリのカフェのプディング

【栄養成分(1人)】

たんぱく質	9.1g	鉄分	1.1mg
脂質	5.5g	食物繊維	1.5g
カルシウム	82.0mg	糖質	31.8g

【材料】4人分 少し硬くなったパンでもOK!

フランスパン	200g	砂糖	12g
牛乳	240g	シナモンパウダー	小さじ3
卵	2個	砂糖	小さじ5

① フランスパンをざく切りにし、牛乳、卵、砂糖を混ぜたものにフランスパンをくぐらせて、グラタン皿にのせる。



② シナモンパウダーをかけて、オーブントースターで3分焼き、焦げ目がついたらアルミホイルでおおい、さらに3分焼く。



③ 好みで砂糖をふりかけて。



- レシピは4人分ですが、お好みで量を調節してください。冷めてもおいしいので、ランチにもよさそう。
- 糖分が気になる方は、ノンカロリー甘味料を使って。



「みんなので守ろう地球環境」  
地球温暖化防止のための京都議定書の成立と今後の課題



去る7月7日、本学文系センター棟4階第4会議室において「みんなので守ろう地球環境」をテーマとした特別講演会が開催されました。企画は本学大学院資源循環・環境工学専攻の市川新教授、お招きしたのは慶應義塾大学環境情報学部の浜中裕徳教授。学内外から170名以上が参加し会場に入りきれないほどでした。地球環境の今と未来を真摯に考える有意義な講演会でした。

講演会は市川教授の趣旨説明で開幕。「今、地球環境は危機に瀕しています。われわれはそれに対し、行動を起こさずにはいられません。その第一歩として、元環境省審議官の浜中先生をお招きし講演を聴くことにしました。浜中先生は日本政府の代表として、京都議定書の制定、批准、国内での調整などに携わってこられたこの問題に関する第一人者です。文系・理系・医系を問わずすべての福大生が、



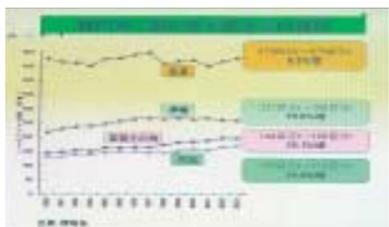
講演  
慶應義塾大学環境情報学部  
浜中裕徳教授



特別講演会コーディネーター  
本学大学院資源循環・環境工学専攻  
市川新教授

この問題を自分の問題として考えるよい機会になればと思います。」と先生を紹介しました。  
浜中教授は「京都議定書が発効し、わが国は温室効果ガスを6%削減する義務があり、それを達成させるために京都議定書目標達成計画を閣議決定しました。今後、目標達成に向けてどのように効果的に取り組みを進めていくかが大きな課題です。さらに地球温暖化問題の解決のため世界全体の排出量を大幅に削減しなければなりません。このため京都議定書に参加していないアメリカ、参加していても数値目標が定められていない中国・インドとどう協調していくかが大きな課題です。京都議定書は、最終目標ではなく、出発点に過ぎないのです。」という内容で、予定時間を大幅に

オーバーするほど熱のこもった講演でした。  
講演後の質疑応答では「原子力発電と環境」に関する質問など内容の濃い討議も行われ、最後に法学部浅野直人教授が総括をして締めくくりました。



1990年来、産業部門は微増にとどまっているものの、全体としては、やはり増加傾向に。京都議定書で、日本は温室効果ガス排出量マイナス6%の削減を求められている



あの日

Vol.3  
2枚の写真から  
福岡大学の今、あの頃  
「福大図書館」



今

右側の写真は、1959年に竣工した旧図書館の閲覧室。鉄筋コンクリート3階建て、書庫は5積層で、延べ1,478.4㎡。本学創立25周年記念事業の一環として建設されました。場所は現在のA棟あたりです。当時の蔵書数83,112冊。

もう一枚の写真は、1969年に竣工した現図書館の閲覧室。鉄筋コンクリート12階建てで、延べ17,267㎡。本学創立35周年記念事業の一環として建設されました。現在の蔵書数1,598,650冊。

旧図書館は、規模が小さく、すぐに手狭になりました。わずか10年の後に移築されたのはそのことが大きな要因です。旧図書館に比べ、蔵書数は20倍近くに。変わらないのは、閲覧室で自分の「知と思索」を磨く学生たちです。

▲写真提供:福岡大学大学史資料室

Event Schedule

10月 前期追試験(3日~7日)

前期追試験成績発表(25日~28日)

アジア圏協定校研修生受け入れ

(中国・中国〔台湾〕・韓国・インドネシア・ネパール)(17日~28日)

学園祭 七隈祭  
(市中パレード30日、  
前夜祭11月2日、  
展示・バザー11月3日~5日、  
後夜祭11月5日)



11月 ホームカミングデー(3日)

学園祭 雅祭(商学部第二部)

(前夜祭10月2日、ステージ企画・バザー11月3日~5日、後夜祭11月5日)

交換留学生募集(英国・米国・仏国・ブラジル)

九州地区大学体育大会冬季大会(大分・宮崎)  
推薦入試(21日・22日、26日・27日)



12月 附属看護専門学校入試(17日)

交通安全セミナー(17日)

冬季休業開始(25日)

事務休業(28日~1月4日)

1月 冬季休業終了(5日)

後期授業再開(6日)

後期授業終了(12日)

後期定期試験  
(13日~26日)



2月 学部留学生入試(2日)

一般入試・前期日程(本学・地方4日~12日)

成績発表(4年次生以上 他)

医師国家試験(18日~20日)

大学院春季入試(19日・20日・22日~25日)

交換留学生派遣

(中国・中国〔台湾〕・韓国・豪州)

海外研修生派遣(米国・豪州)

海外春期中国語研修生派遣(中国)



今年度前半の交換留学、海外研修を終えて

国際センターが支援する交換留学・海外研修等の、2005年度前半プログラムが終了しました。そこで今号では、国際センター長である田中俊宏教授に、最近の交換留学や海外研修の特徴や課題などについて語っていただきました。



国際センター長  
田中 俊宏 (経済学部教授)

高まりつつある中国への関心。しかし、留学希望者の全体的な減少には憂慮。

本年度というより、ここ数年の傾向ですが、中国への留学生が増えたのは大きな特徴です。

戦後から長い間、中国は「近くて遠い国」の代表でした。しかし、近年の開放政策によって中国側の受入れ体制も改善され、本学学生への中国に対する興味も高まったようです。

福岡は古来からアジアの玄関口として栄えた都市。この地域の代表的な大学である本学は、中国の4つの大学と交流協定を結んでいます。今年9月には中国・国家法官学院と

も新しく協定を結びました。また、将来的には福岡市の姉妹都市である広州にある大学と協定を結ぶ計画もあり、学生たちのニーズにさらに応えていく予定です。

反面、残念でならないのは、交換留学や海外研修に応募する学生の、慢性的な減少傾向です。学生の中には東京に目を向けるよりも、やはり海外に目を向けていただきたい。福岡を中心にして、東京までの円を描いてもらえない。その円の中には韓国・釜山が入るはず。もっと円を広げれば中国にも届きます。東京から日本を見るより、海外から日本を見よう。また、福岡という地域を見よう。その世界的な視野からは、日本の、地域の新しい魅力や課題などが、くっきりと見えてくるはず。もちろん、異文化を実感することの価値の大きさは、改めて語るまでもありません。

TOPICS

中国・国家法官学院との協定締結。交流協定は12カ国26大学1機関に。

9月13日、福岡大学と中国・国家法官学院との協定締結式が、本学の本館2階第一会議室にて行われました。国家法官学院は、中国の最高人民法院(日本の最高裁判所にあたる)に附属しており、新任裁判官や現職裁判官の研修をする教育機関。日本における協定締結は福岡大学が初めてです。

本学は、本学生と中国の裁判官との交流や、日本の実務家を中国・国家法官学院に派遣することを目

指します。また法官学院では、本学の法学部学生や法科大学院との交流、さらに、本学を日本の窓口として、日本の裁判所などでの研究・研修を希望しています。

福岡大学が結ぶ交流協定先は、これで12カ国26大学1機関になりました。



# 平成16年度 学校法人福岡大学収支決算について

- 消費収支においては10.4億円の消費支出超過になりましたが、帰属収支においては70.4億円の帰属収入超過になりました。
- キャンパス整備事業としての第2号基本金組入額70億円を含み、基本金組入額合計で80.8億円を計上しました。

## ■平成16年度消費収支計算書 (決算規模602億円)

科目	消費収入の部		
	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	23,949,010	24,663,934	△ 714,924
手数料	1,477,260	1,387,546	89,714
寄付金	749,170	915,713	△ 166,543
補助金	4,020,810	3,844,176	176,634
資産運用収入	1,300,140	1,567,858	△ 267,718
資産売却差額	0	412,812	△ 412,812
事業収入	1,187,810	1,203,425	△ 15,615
医療収入	23,490,480	24,938,107	△ 1,447,627
雑収入	870,310	1,282,788	△ 412,478
帰属収入合計	57,044,990	60,216,359	△ 3,171,369
基本金組入額合計	△ 5,408,000	△ 8,080,964	2,672,964
消費収入の部合計	51,636,990	52,135,395	△ 498,405

科目	消費支出の部		
	予算	決算	差異
人件費	31,067,940	29,906,480	1,161,460
教育研究経費	21,331,970	20,064,124	1,267,846
管理経費	2,259,190	2,042,364	216,826
借入金等利息	123,320	123,310	10
資産処分差額	0	1,002,174	△ 1,002,174
徴収不能額	0	33,800	△ 33,800
[予備費]	(364,880)	478,570	△ 843,450
消費支出の部合計	55,260,990	53,172,252	2,088,738
当年度消費支出超過額	3,624,000	1,036,857	2,587,143
前年度繰越消費収入超過額	4,428,390	6,167,005	△ 1,738,615
翌年度繰越消費収入超過額	804,390	5,130,148	△ 4,325,758
帰属収支差額	1,784,000	7,044,107	△ 5,260,107

## ■平成16年度資金収支計算書 (決算規模984億円)

科目	収入の部		
	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	23,949,010	24,663,934	△ 714,924
手数料収入	1,477,260	1,387,546	89,714
寄付金収入	749,170	915,713	△ 166,543
補助金収入	4,020,810	3,844,176	176,634
資産運用収入	1,300,140	1,567,858	△ 267,718
事業収入	1,187,810	1,203,425	△ 15,615
医療収入	23,490,480	24,938,107	△ 1,447,627
雑収入	870,310	1,282,788	△ 412,478
前受金収入	5,284,330	6,172,814	△ 888,484
その他の収入	20,232,460	28,847,737	△ 8,615,277
資金収入調整勘定	△ 10,086,380	△ 11,463,609	1,377,229
前年度繰越支払資金	13,078,120	15,136,059	△ 2,057,939
収入の部合計	85,553,520	98,448,314	△ 12,894,794

科目	支出の部		
	予算	決算	差異
人件費支出	30,760,520	29,749,663	1,010,857
教育研究経費支出	17,736,040	16,435,478	1,300,562
管理経費支出	2,036,860	1,824,929	211,931
借入金等返済支出	123,320	123,310	10
施設関係支出	4,175,850	4,549,969	△ 374,119
設備関係支出	2,351,810	2,142,421	209,389
資産運用支出	4,917,050	16,190,386	△ 11,273,336
その他の支出	13,052,280	14,126,142	△ 1,073,862
[予備費]	(374,480)	470,520	△ 844,000
資金支出調整勘定	△ 3,461,190	△ 4,046,703	585,513
次年度繰越支払資金	12,884,850	17,872,370	△ 4,987,520
支出の部合計	85,553,520	98,448,314	△ 12,894,794

(注) [予備費]は未使用額を表し、( )内の金額は使用額を示す。

## ■平成16年度に取得した主な施設・設備

### ●施設・設備の名称および内容

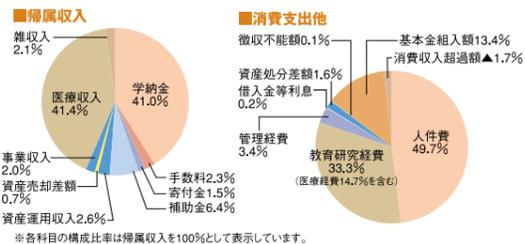
<施設関係>建物・構築物

- 薬学部棟新築 (平成15・16年度継続事業)
- 文系センター棟中央監視制御設備他工事
- 福岡大学病院本部1階放射線部第1MRI室改造工事
- 福岡大学筑紫病院新外棟棟新築
5. 大学正門・アプローチ整備工事
6. 薬学部棟外溝工事

<設備関係>機械器具

- 高性能ナノ秒放電プラズマ反応計測・分析装置【工学部・研究装置】
- 福岡大学病院MRI装置
- 講義室マルチメディア設備【薬学部・マルチメディア装置】
- 講義室マルチメディア設備【教務部・マルチメディア装置】
- 高感度ベクトルMMSスペクトル解析装置【工学部・研究装置】
- 福岡大学病院MRI装置
- 福岡大学病院採血管理備用システム
- 福岡大学筑紫病院多目的X線テレビシステム

●福岡大学公式ホームページに詳細な決算情報を公開していますので、ご覧ください。



## ■消費収支決算の概要 (予算との比較)

注: ↑増加を示す ↓減少を示す

**消費収入の部**

- 学生生徒等納付金 ↑ 入学金の増加等による。
- 医療収入 ↑ 一日平均収入単価の増加。
- 基本金組入額 ↑ 第2号基本金への組入れによる。

○帰属収入合計は602億円となり、予算比32億円の増加、また、前年比で4億円の増加となりました。

**消費支出の部**

- 人件費 ↓ 教職員数の差異等による減少。
- 教育研究経費 ↓ 電力費、実験実習費、医療経費等の減少。

○消費支出の合計は532億円となり、予算比21億円の減少、前年比で6億円の増加となりました。

(消費収入と消費支出)  
帰属収入から基本金組入額を差し引いた521億円が消費収入です。この額が消費支出に充てることのできる金額となりますが、平成16年度は532億円の消費支出となり、消費収入と比較すると10.4億円の消費支出超過となりました。

(帰属収支差額)  
帰属収入から消費支出を差し引いたものを帰属収支差額といいます。平成16年度は70.4億円の帰属収入超過となりました。

福岡大学が提供した教育・研究等の対価として受け取る収入で、負債とならない収入です。

良好な教育環境を維持するための施設・設備等の額であり、帰属収入から差し引く金額です。

学生生徒等の教育研究のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

## ■資金収支決算の概要 (予算との比較)

注: ↑増加を示す ↓減少を示す

**収入の部**

- 前受金収入 ↑ 入学金前受金の増加等による。
- その他の収入 ↑ 固定資産から流動資産への資金移動による。

**支出の部**

- 資産運用支出 ↑ 流動資産から固定資産への資金移動による。
- その他の支出 ↑ 前期末未払金の増加等による。

(資金収支規模と次年度繰越支払資金)  
●資金収支決算の合計は984億円で、前年比150億円の財政規模縮小となりました。  
●資金収支の期末としての次年度繰越支払資金は179億円で、前年比27億円の増加となりました。

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。



学校法人福岡大学  
副学長 衛藤 卓也教授  
(商学部)

## 1 入学志願者と就職率について

### ■入学志願者の推移

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
入学志願者	39,591人	42,107人	43,248人	43,122人	41,631人
指数	100	106	109	109	105

### ■就職率の推移

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
男子	81.8%	83.7%	82.9%	85.2%	92.1%
女子	76.9%	81.0%	78.5%	82.6%	86.3%
全体	79.9%	82.6%	81.1%	84.1%	89.8%
指数	100	103	102	105	112

(注) 文部科学省・厚生労働省調査の大学生就職内定率 (各年2月1日現在)

	15年度	16年度	対前年比
男子	82.8	83.5	+0.7
女子	81.2	81.5	+0.3
全体	82.1	82.6	+0.5

入学志願者数は前年より3.4%減少しましたが、合格者および入学手続き終了者は逆に前年より増加しています。しかしながら、18歳人口減少への対応は、全国の大学にとって共通かつ最大の課題です。学生の質・量を十分確保していきけるのは、大学の實力、つまりは関係各方面の大学の評価に大きく頼っているだけに、福岡大学をさらに魅力ある大学にすることが必要です。就職率は全体で9割近くに達し、平成9年度の水準に近づいてきました。これは景気の回復と各関係者の努力の成果です。引き続き全学一体となつての努力をお願いしたいと思います。

## 2 財政状況について

### ■福岡大学の財政状況を示す主要項目実績の推移 (単位:億円)

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
帰属収入	562	602	582	598	602
消費支出	514	527	528	526	532
帰属収支	48	75	54	72	70
純資産残高	1,323	1,398	1,452	1,525	1,595
基本金残高	1,300	1,363	1,414	1,463	1,544

帰属収支=帰属収入-消費支出  
有利子負債は、16年度は12年度に比べ65億円から31億円へ34億円の減少

### ■消費支出比率 (単位:%)

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
福岡大学	91.4	87.6	90.8	87.8	88.3
全国平均	92.5	93.6	94.8	94.7	—

### ■人件費比率 (単位:%)

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
福岡大学	53.7	51.4	51.9	50.1	49.7
全国平均	48.0	47.5	47.2	46.8	—

### ■自己資金構成比率 (単位:%)

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
福岡大学	78.0	79.6	81.2	82.3	82.7
全国平均	77.4	77.8	79.0	79.3	—

(注) 全国平均=大学法人(医・歯他種学部)比率  
堅調な帰属収入をベースとして基本金についても着実な増加を示しています。また、他大学と比較しても人件費比率においてやや高いものの改善傾向にあり、総体として健全な財政状況を持っています。

## 3 福岡大学病院と福岡大学筑紫病院について

### ■帰属収入の推移 (単位:億円)

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
福岡大学病院	182	188	187	191	193
同筑紫病院	62	65	67	71	72

### ■消費支出比率の推移 (単位:%)

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
福岡大学病院	99.8	100.8	103.1	98.2	95.6
同筑紫病院	98.8	96.3	96.9	96.4	94.4

売上高ともいべき帰属収入は着実に上昇し、また消費支出比率も改善されています。引き続き医療行政の改革に的確に対応し、経営の向上を図るとともに、優秀な医療人材の育成と地域の高度医療機関としての役割を果たしていただきたいと思います。

## 4 資産運用収入について

### ■運用資金・運用収入の推移

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
運用資金	730億円	794億円	826億円	885億円	942億円
運用収入	2.9億円	3.7億円	4.5億円	7.3億円	14.3億円
平均利率	0.39%	0.46%	0.54%	0.82%	1.52%

平成16年度の運用実績は高く、運用資金が着実に増加していることは評価できます。今後とも堅実な資産運用に努められ、財政的基盤をより強固なものにしていただきたいと思います。

学校法人福岡大学の平成16年度決算が、去る5月26日開催の理事会および評議員会において承認されました。それに先立ち、5月16日より5日間、学校法人福岡大学の監事2名が公認会計士2人と共に監査を行いました。その結果、正確・妥当であるとの報告を受けました。

財務諸表は平成17年3月31日現在の財政状態および経営状況を正確に表示しており、基本金組入れは妥当であることが認められました。さらに決算報告を補足する項目として以下のような要望が出ています。

## 70周年を機に更なる改革を

監査報告の最後の要望は「内部監査機構の充実」と「大学の改革について」でした。その要望は、「大学を取り巻く厳しい状況の下で、福岡大学が層の発展を遂げていくためには、教学、経営、施設等において更なる充実や改革が求

められている。平成17年度事業計画に基づいた施策を着実に実行していただきたい」という趣旨でした。私たちはこの監査報告と決算を深く受け止め、事業計画の具体的な展開を行いたいと思

大学を取り巻く厳しい環境下、更なる改革や充実を図る。

数字で見る、福岡大学の1年の総決算。衛藤副学長から、その監査報告を説明していただきました。この数字と報告には、確かな足跡と今後の課題や展望がくっきりと浮き彫りになっています。

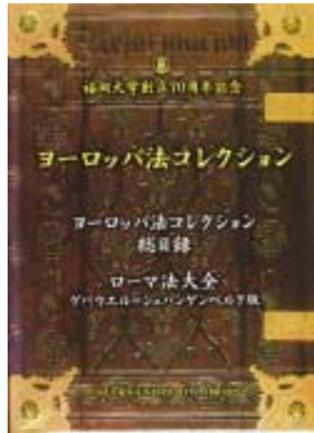


TOPICS

図書館便り

約160万冊の蔵書はもちろん、貴重書コレクションにも注目!

2004年度私立大学図書館協会賞を受賞



この受賞作品は創立70周年記念事業の一環として、平成15年度私立大学等経常費補助金「私立大学教育研

究高度化推進特別補助」を受けてDVD化したもので、全国の大学図書館や研究機関等約450箇所無料配布し、法律学分野に限らず、広く研究教育、学習の面から高い評価を得ております。

貴重書コレクション



門司視／朝月舎程十撰 1728(天保十三年)序

葵氏艶譜／雙鳩子(斎藤秋画)画 1815(文化十二年)

本学図書館は、全国的にも蔵書が充実しており、特に貴重な資料や文献はコレクションとして整備・保存しています。これらは定期的に展示会などで一般公開して好評を博しています。また、画像データとしてデジタル化し、図書館ホームページでの公開や、一部はDVD化も進めています。



主なデジタル化コレクション「ローマ法大全」・「グリム兄弟コレクション」・「グリン童話集アーターベース」・「和本の美」・「九州の出版文化」・「ウィリアムモリスのケルムスコットプレス」

Book Review 新刊本紹介 教職員・OB・OGがおすすめします 福大生にこの一冊!



賢く走るフルマラソン 田中宏暁 著 (株)ランナーズ 2005年5月刊 定価1,599円(税込)  
われわれはニコニコ笑顔を保てるような軽運動が、心血管系機能を高め、生活習慣病の運動療法や心筋梗塞患者のリハビリテーションとしても有効なことを証明したが、ニコニコペースで走れば、誰でもマラソンを完走できることを、さらに、同じ体力でも、知恵を働かせれば驚くほど速く走れるようになることを科学的根拠に基づき解説した。  
本書がマラソンにチャレンジしてみたい方、また自己記録を更新したい方はもちろん、まったく走ったことがない方にとっての健康増進法の道しるべになれば幸いです。

田中宏暁 スポーツ科学部教授

活字離れがすすむ今だからこそ、見直したい書物という知の泉。本学関係者の新刊本を紹介します。



脳を「介護」する 山田達夫 著 (株)悠飛社 2005年5月刊 定価1,470円(税込)  
我が国が高齢化社会を迎えるなかで、誰もが身近に体験し、避けては通れなくなりつつある病気の一つが認知症(痴呆症)であろう。  
本書は、福岡大学医学部教授で、各地に設置された「物忘れ外来」などで老人医療に携わる著者が、認知症とはどのような病気なのか、どのような予防法や治療法があるのか、家族は患者にどう接すればいいのか、ということから、悔いのない老後を迎えるための心の持ちように至るまで、その豊富な経験に基づいて親切丁寧に教えてくれる。

山田達夫 医学部教授

福岡大学の教職員、OB・OGの方で新刊本の紹介を希望される場合は、右記の要領でお申し込みください。

- 対象 市販されている書籍(共著を含みます)。なお、テキスト類は除きます。
- 提出していただくもの ①出版物の現物(福岡大学図書館または広報課へ寄贈するか、返却を希望するかを明記してください) ②内容の要旨(200字程度)
- 提出先 福岡大学広報課 〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目1番1号 TEL 092-871-6631(内線4635)

平成16年度 学校法人福岡大学収支決算について

貸借対照表(決算規模1,928億円)

(単位:千円)

科目	資産の部		
	本年度末	前年度末	増減
固定資産	168,636,799	164,131,545	4,505,254
有形固定資産	86,417,451	85,002,108	1,415,343
土地	15,742,136	15,742,136	0
建物	45,975,336	43,782,747	2,192,589
構築物	2,980,614	3,071,810	△ 91,196
造作	0	0	0
教育研究用機器備品	8,378,392	8,333,547	44,845
その他の機器備品	54,455	57,920	△ 3,465
図書	13,277,005	12,946,501	330,504
車輛	9,513	12,457	△ 2,944
建設仮勘定	0	1,054,990	△ 1,054,990
その他の固定資産	82,219,348	79,129,437	3,089,911
電話加入権等	19,797	19,425	372
収益事業元入金	1,200	1,200	0
貸付金	1,825,660	1,825,520	140
貸与奨学金	3,984,041	3,813,969	170,072
出資金	36,225	36,225	0
差入保証金	50,478	49,698	780
引当特定資産	76,301,947	73,383,400	2,918,547
流動資産	24,180,099	21,205,402	2,974,697
現金預金	17,872,370	15,136,059	2,736,311
未収入金	5,814,918	5,594,454	220,464
材料	70,182	48,957	21,225
貯蔵品	20,102	10,895	9,207
立替金	3,039	7,442	△ 4,403
前払金	329,005	337,823	△ 8,818
仮払金	70,483	69,772	711
資産の部合計	192,816,898	185,336,947	7,479,951

校舎、寮、体育館などの建物および建物附属設備(空調など)の額のことです。

教育研究のために使用される機械設備等の額のことです。

学生生徒等に貸与している奨学金の額のことです。

将来の特定の目的のために使用する資産のことです。

現金およびすぐに引き出すことのできる預貯金のことです。

決算日(3月31日)における補助金などの未収額のことです。

貸借対照表の概要(前年度決算との比較)

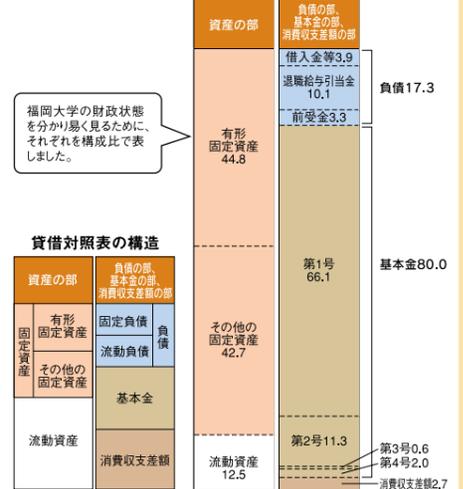
注: ↑増加を示す ↓減少を示す

資産総額は75億円の増加。  
●純資産(資産総額から負債総額を差し引いたもの)は1,595億円で、70億円の増加。  
●資産総額に占める純資産(自己資金)の割合は82.7%で、0.4ポイント上昇。  
●引当特定資産↑ 第2号基本金引当特定資産の増加等による。  
●現金預金↑ 次年度繰越支払資金の増加による。  
負債の部 負債総額は4億円の増加。  
基本金の部 基本金総額は81億円の増加。  
●第1号基本金↑ 薬学部棟新築および大学正門・アプローチ整備等に係る組入れによる。  
●第2号基本金↑ キャンパス整備事業に対する組入れによる。  
消費収支差額の部 翌年度繰越消費収支超過額は10億円の減少。

【福岡大学を取り巻く環境】  
大学全入時代が目前となり、今後は学納金収入、手数料収入の増収は期待できません。また、補助金収入の通減、低金利による資産運用収入の減少、施設・設備費および教育研究経費の増加等により収支の悪化が予想されます。これに対応するため、教育研究および医療活動のあらゆる面で見直しを行い、経営の安定に努めています。

【学校法人福岡大学監事からの報告および要望】  
次の4項目の経営指標で、今後一層の効果的、効率的な対応を要望されました。  
①入学志願者と就職率について  
②財政状況について  
③福岡大学病院と福岡大学筑紫病院について  
④資産運用収入について

平成17年3月31日現在の財政状態



福岡大学の財政状態を次の2つの視点から見てみます。  
①現有資産が自己資金によるものなのか負債によるものなのか。  
②必要な資産を現時点で保有しているのかいないのか。  
さらに、日本私立学校振興・共済事業団発行の「今日の私学財政」を基に、医歯他複数学部大学法人平均との比較で評価を行いました。医歯他複数学部大学法人平均と比較して、財政状態が良い場合は○、同程度の場合は△、悪い場合は×と表記しています。

【福岡大学の財政状態】  
①自己資金(基本金+消費収支差額)の構成を指数化すると82.7%です。この指数は高いほど財政的に安定していると言われています。(評価○)  
②消費収支差額がプラスなので、基本金相当の資産を保有し、かつ負債相当の資産も保有しています。(評価○)  
③基本金には、将来の施設設備取得に備えての資金も11.3(第2号)含まれています。(評価○)

(単位:千円)

科目	負債の部		
	本年度末	前年度末	増減
固定負債	22,152,742	22,426,331	△ 273,589
長期借入金	2,735,110	3,165,516	△ 430,406
学校債	6,000	6,000	0
退職給与引当金	19,411,632	19,254,815	156,817
流動負債	11,161,651	10,452,218	709,433
短期借入金	393,280	411,843	△ 18,563
学校債	0	6,000	△ 6,000
未払金	3,708,881	3,107,057	601,824
前受金	6,273,198	6,080,498	192,700
預り金	783,885	845,900	△ 62,015
仮受金	2,407	920	1,487
負債の部合計	33,314,393	32,878,549	435,844

返済期限が1年を超えて到来する借入金のことです。

16年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額のことです。

返済期限が1年以内に到来する借入金のことです。

翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金などのことです。

(単位:千円)

科目	基本金の部		
	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	127,564,152	123,878,381	3,685,771
第2号基本金	21,713,943	17,318,750	4,395,193
第3号基本金	1,170,262	1,170,262	0
第4号基本金	3,924,000	3,924,000	0
基本金の部合計	154,372,357	146,291,393	8,080,964

財産的な基盤を確保する額のことです。福岡大学が安定的かつ永続的に経営していくために必要な額です。

- 第1号(施設・設備取得) 自己資金で購入した施設設備費の累計額
- 第2号(計画組入) 将来の施設設備取得のための積立金
- 第3号(各種基金) 奨学金基金等として保持している金額
- 第4号(運転資金) 恒常的に保持すべき資金の額(1カ月の運転資金)

(単位:千円)

科目	消費収支差額の部		
	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費収支超過額	5,130,148	6,167,005	△ 1,036,857
消費収支差額の部合計	5,130,148	6,167,005	△ 1,036,857

資産から負債と基本金を差し引いた額です。プラスは収入超過(累積黒字)を、マイナスは支出超過(累積赤字)を表します。

科目	負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計		
	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	192,816,898	185,336,947	7,479,951

※福岡大学公式ホームページに、詳細な決算情報を公開していますのでご覧ください。

## 大学院学位記授与式を挙

10月4日、平成17年度秋季の大学院学位記授与式が挙行され、学位取得者16人(修士学位1人、博士学位15人)に学位記が授与されました。皆さん、おめでとうございます。



## 校名ロゴタイプおよび スクールカラーの基準色の 決定について

大学の一体感を醸成すると同時に、本学の統一されたイメージを積極的に広く社会に伝えるため、福岡大学の校名ロゴタイプおよびスクールカラーの基準色を下記のとおり、決定しましたのでお知らせします。

各部署で印刷物など学外に発信するものに、校名ロゴタイプおよびスクールカラーを利用してください。

また、校名ロゴタイプおよびスクールカラーの基準色の清刷りは広報課で作成し、配付する予定です。

ご不明な点は、広報課(内線4635)までお問い合わせください。

### 「福岡大学」の校名ロゴタイプ

正門用に揮毫された文字です。  
ただし、使用する場合は横書きのみです。

**福岡大学**

### スクールカラーの基準色

えんじ色  
表示色  
・4色かけ合わせ C:45 M:100 Y:100  
・特色 DIC:F131

印刷会社等に発注する際は、表示色を指示してください。  
ただし、印刷するもの(紙・布・プラスチックなど)の種類によって、色合いが変わります。

また、印刷物でも文字のバックの色が濃い場合も同様なことがいえますので、表示色はあくまで基準と考えてください。

## 平成17年度福岡大学特待生を表彰

6月30日、60周年記念館ヘリオスホールにて平成17年度福岡大学特待生の表彰式が行われました。

学業成績ならびに品行の特に優秀な学生として選ばれた88人が表彰されました。皆さん、おめでとうございます!



## 「地域と大学との懇話会」を開催

7月5日、本学文系センター棟2階第一会議室にて「第7回地域と大学との懇話会」が開催されました。山下学長をはじめとする本学関係者と、片江、長尾など大学周辺5地区の代表者らが出席し、活発な意見交換が行われました。

本学の地域ネット福大オフィスが、地域にとってありがたい窓口であり、今後、大学から地域への積極的な情報の提供を望む意見が出されました。また、地域の夏祭りや子供会等への本学学生の積極的な参加に対し謝辞が述べられ、本学教員による出前講座を要望する声も寄せられました。

本学では、地域との連携を図っていくことが大学の価値を高めていくものと考えており、これからも連携を強化していきます。



## 東京事務所の入居ビル名称が変更

10月1日、本学の東京事務所が入居しているビルの名称が下記のとおり変更されました。

東京都港区虎ノ門二丁目9番14号 郵政福祉虎ノ門第1ビル4階  
(所在地の変更はなし)

## 法律研究部が「模擬裁判劇」を公演

7月1日、有朋会館3階大ホールにて学術文化部会法律研究部による模擬裁判劇「性同一性障害」の公演が行われました。

現代社会において問題となっているテーマを、裁判劇というスタイルで社会に強く訴えるものです。

同部での最大行事でもある模擬裁判劇も今年で16回目を数え、今回は「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」が平成16年7月に施行されたことを受け、性同一性障害者の性別変更に関する問題を取り上げました。



## ユニバーシアード・イズミル大会にて サッカー男子が世界大会3連覇の偉業を達成

2005夏季ユニバーシアード(トルコ・イズミル)・サッカー男子決勝で、本学スポーツ科学部乾真寛助教授が監督を務める日本代表チームが強豪イタリアを下し、史上初のユニバ3連覇を達成しました。同大会には本学サッカー部からスポーツ科学部4年次生の高橋大輔さん、衛藤裕さん、登尾顕徳さん、同3年次生の赤星拓さんの計4人が出場し、優勝に大いに貢献しました。おめでとうございます!



金メダルを胸に  
優勝報告する  
サッカー部監督と  
代表選手たち  
(左から)乾助教授、  
高橋さん、衛藤さん、  
登尾さん、赤星さん  
山下学長

## 重症糖尿病に新たな治療法が

本学医学部第一外科(池田靖洋教授)の安波洋一助教授らの研究グループは、独立行政法人理化学研究所との共同研究で、重症糖尿病の治療方法である膵島細胞移植の際に起こる拒絶反応の仕組みを解明し、さらに、リンパ球の一種であるNKT細胞の機能を制御することにより、移植の際の拒絶反応を制御することに世界で初めて成功しました。

国内に約10万人ともいわれる重症糖尿病患者がインスリン注射から解放される方法の一つとして注目されている膵島細胞移植は、臓器移植に代わる治療法として注目されており、今回の研究成果が、糖尿病治療に画期的な進歩をもたらすものといえます。

## 課外活動の優秀な成績者を表彰

8月4日、課外活動の優秀な成績者に対する表彰式が行われました。陸上競技部7人、水泳部1人、重量挙げ部1人、ソフトボール部1人の計10人に対して、中原一学生部長から表彰状と褒賞金が手渡されました。皆さん、おめでとうございます!



## 「花嶋環境基金」の奨学金を授与

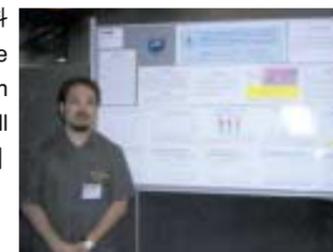
花嶋正孝名誉教授(工学部土木工学科、現社会デザイン工学科)の在職中研究資金などを基に設立された「花嶋環境基金」の平成17年度奨学生、溝田景子さん(社会デザイン工学科3年次生)、川島貴幸さん(同3年次生)、西原敬人さん(土木工学科4年次生)、ハンダヤニ リリー シスカさん(大学院、資源循環・環境工学専攻2年次生)の4人に対し、7月13日、大和竹史工学部長から奨学金の授与が行われました。荣誉に輝いた皆さんの一層の勉勵に期待します。



(手前左から)溝田さん、ハンダヤニさん、西原さん、川島さん

## 三好 立医学部助手が世界肺癌学会で 優秀研究に選ばれる

7月にスペインのバルセロナで開催された第11回世界肺癌学会において、本学医学部第二外科の三好 立助手が発表した「The role of cigarette smoking in the development of small primary lung adenocarcinoma」が優秀研究に選ばれました。



知ってるところ、知らないところ、広大なキャンパスは宝の山。君も福大生ならすべてを体験しよう。

# 総合体育施設と講堂を兼ねた、スポーツ科学部の拠点。

## 第二記念会堂



1975年に完成した鉄筋4階建ての建物。メインフロアは3,600㎡で、観覧席(2,960人収容)を含め約1万人を収容でき、体育授業はもちろん大学行事、試合、練習など多目的に利用されています。また、25の研究室をはじめ各種実験・測定室、トレーニング室、リハビリテーション室などがあり、さらに、体操ピット棟とスカッシュケット棟も隣接され、スポーツ科学部の拠点です。



### 卒業式・入学式の会場

スポーツ科学部以外のみなさんにとって、一番の印象は入学式・卒業式かも。少しの不安とたくさんの喜びにあふれた4月、惜別の想いと出発への期待に満ちた3月。道路を渡って陸上競技場前を通り、ゆっくりと登っていく道のりと第二記念会堂は、誰もが忘れがたい青春の思い出です。



# 模試会場などで、学外にも利用される、福大の名物館。

## 1号館



A棟のとなりにある1号館は、キャンパス内に全部で14棟ある号館のひとつで、最も古く昭和34年の竣工。大教室が多く、在学生にはおなじみの建物です。1・2・3番教室など大教室を利用している。



講演会やイベントなども多く開催されます。また、公開模試や学術講座などの会場として、一般に広く開放される機会が多いのも特徴です。

### 1階に就職・進路支援センター

1号館と聞けば、皆さんが最初に思い出すのは就職・進路支援センターかも。毎年1・2・3年次生を対象にした「進路ガイダンス」や「就職ガイダンス」、「インターンシップ」などで入学直後からお世話になる(なりた)いセンターです。個別相談から各種対策講座まできめ細かにサポートしています。どうぞ気軽に立ち寄ってください。

# くるくるスポット KURUKURU Spot

キャンパスのユニークスポットを、あまり知られていないエピソードを交えて紹介。これを読んだら行きたくなる!



## 図書館

約160万冊という、西日本屈指の蔵書数を誇る図書館。あまり知られていませんが貴重書のコレクションでも有名です。たとえば「グリム童話集原本」「ローマ法大全」などなど。これらは学内外で定期的に公開されています。また画像データとして図書館ホームページでも見ることができます。



## オアシス

8号館の1階ラウンジ「オアシス」、行ったことがありますか。ちょっとわかりにくい入口ですが、中は広々。大きな窓からの、キャンパスの眺めが素敵です。販売されている飲食物も多彩で、なにより学食とはひと味違う「大人の落ち着き」が魅力です。

# 窓口 インフォメーション

## 「エクステンションセンター」

### 社会の窓口の第一歩!!

エクステンションセンターは、資格取得や基礎学力向上のための教育プログラムを提供しています。また、卒業生や一般社会人とともに受講する市民のためのキャリア開発、生涯学習支援などの講座も開講しています。より実践的なプログラムを体験し、実社会へ、自信をもって踏み出せる準備をしましょう。皆さんお気軽に「福岡大学エクステンションセンター」を訪れてください。スタッフが親身になって相談に応じます。きっとあなたの未来が見つかります。



▲エクステンションセンター

## 編集後記

「Because it is there」そこに山があるから。三度もエレベーターに挑んだイギリスの登山家ジョージ・マローリーは、ニューヨーク・タイムズ紙のインタビューで「どうしてエレベーターに登るのか?」との質問に、そう答えたそうす。

まさに登山家の信念のようなものを表すこの言葉には、畏敬の念を超え、畏怖すら覚えるのは凡人であるが故か。

今回「チャレンジ」若き福大OB・OG、その道の途中から」で紹介した重川英介氏は、取材の翌日、ネパールに向けて出発しました。

その人なづかい表情とは裏腹に、氏の人並外れた体力はもろろんのこと、あらゆるものが溢れ、欲するものを苦もなく手中にできる世の中で、敢えて自ら困難に立ち向かうその精神力は、常人には計り知れないものであり、まったく敬服せざるを得ません。やもすると現状に甘んじようとする我が身には本当に眩しく映りました。

この編集後記を書いている最中、第二次アタック隊員として、重川氏がギャクンカン登頂に成功したとのニュースが飛び込んできました。南西稜ルートからの登頂は、世界で初めてのこと。またもや、偉業を成し遂げられました。本当におめでとうございます。

真っ黒に雪焼けた元気な顔で、どうぞご無事に帰国されますように。



▲重川英介氏を取材するFD編集スタッフ

# FD Vol.11 Autumn, 2005

編集・発行 福岡大学広報委員会  
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1  
TEL092-871-6631(代)  
http://www.fukuoka-u.ac.jp/  
印刷: 凸版印刷株式会社